



栗体協ス第111号
平成29年11月24日

栗東市議会
議長 小竹庸介様
要望書第20号
持参

公益財団法人栗東市体育協会
会長 小林



野洲川運動公園陸上競技場の公認継続について

平素は、本市体育協会事業にご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、公益財団法人栗東市体育協会は、昭和30年に創設以来、62年にわたり栗東市の社会体育の振興に携わって参りました。

特に、社会体育施設の管理は、文化体育振興事業団当時から数えますと36年間管理、指定管理委託となってからも3期目の管理をさせていただいております。この間、市民の生涯スポーツの推進や競技力の向上を目指し、市民目線にて社会体育施設の管理に努めて参りました。今後も市民や周辺利用者から満足いただける施設管理を図って参ります。

ところで、野洲川運動公園陸上競技場は、平成10年9月から全天候型競技場として、また4種公認競技場として整備をしていただき、昨年度は21,000人超、一日平均71人と大変多くの人々が陸上競技をはじめとする様々なスポーツの大会や練習に利用していただき競技スポーツや生涯スポーツの振興に役立っております。

しかし、陸上競技場も、5年毎の公認更新時に部分改修を行いながら、今日に至っておりますが、全天候となってから20年が経過し、また多くの利用があることからレーン全体が劣化、大変滑りやすい状況となっており、来年8月には公認が満了となります。

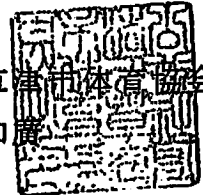
今回、栗東市陸上競技協会を始め近隣3市の陸上競技協会を通じて草津、守山、野洲の体育協会からの要望もあり、財政上大変厳しい状況であることは承知しておりますが、陸上競技の発展や生涯スポーツの振興、推進のため4種公認の継続を栗東市に要望しているところです。

つきましては、栗東市議会からも野洲川運動公園陸上競技場のレーンの全面改修を基本とした4種公認の更新につきまして特段のご支援を賜りますことをお願いするものです。

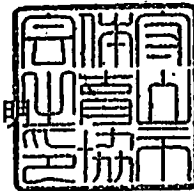
平成29年10月14日

栗東市長 野村 昌弘 様

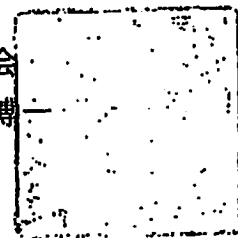
公益社団法人草津市体育協会
会長 山田 和廣



守山市体育協会
会長 岩佐 弘明



野洲市体育協会
会長 山本 博一



野洲川運動公園陸上競技場の第4種公認更新にかかる要望について

日頃から各協会にご支援、ご指導をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、栗東市野洲川運動公園陸上競技場は平成10年から全天候型競技場として、また日本陸連第4種公認競技場として生まれ変わりました。そして、5年ごとの公認更新では、御市に改修いただけてきたところです。

これを契機に草津、守山、栗東、野洲の4市陸上競技協会が協働し、「4市は一つ」を合言葉に実行委員会を結成し、平成14年から日本陸連公認の「びわ湖陸上競技大会」を毎年開催し、参加者数も増加を続け、本年は675名の選手が集う大会にまで発展しました。これもひとえに各市体育協会に対する市教育行政のご理解の賜と感謝しております。

また、大会が4市の皆様に認知、定着するにあわせて、日常の利用も多くなり、昨年度は年間延べ21,000名の利用者があったとお聞きしております。4市の陸上競技愛好家が日常的に練習場として利用されているものと認識いたしており、陸上競技場は必要不可欠な施設であります。

それに加え、県内の公認陸上競技場は現在、野洲川運動公園陸上競技場を含めて6つしかない状況であり、同競技場は各協会においても、そして多くの陸上競技愛好家にとっても重要な施設であります。次回の検定には同競技場のトラック全面改修が必要とされ、多額の費用がかかるとお聞きしております。

つきましては、今回、草津、守山、野洲各市の陸上競技協会からの要望を受け、大変厚かましいとは存じますが、多くの利用者のためにも、第4種公認競技場として公認を更新いただきますよう、草津、守山、野洲市体育協会から連名にてお願い申し上げます。



平成29年 9月 13日

公益財団法人栗東市体育協会
会 長 小林 芳夫 様

栗東市陸上競技協会
会 長 宮城 安治
栗東市陸上競技協会
印

野洲川運動公園陸上競技場の第4種公認の更新について

平素は、本協会にご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、野洲川運動公園陸上競技場は、平成10年から積水化学工業株式会社のご協力をきっかけに全天候型競技場として、また第4種公認競技場として生まれ変わりました。そして5年毎の公認更新においては、栗東市において改修を進めていただけてきたところです。

この間、当初は市の陸上大会を実施しましても、参加者が少数でしたが、年を重ねる毎に、また公認競技場であることから、現在は500人を超える選手が参加する大会もあり、1日では競技を消化できない状況から大会の編成や進行を工夫し、運営に努めております。

また、草津、守山、野洲と栗東の4市の陸上競技協会が合同で実行委員会を作り、日本陸連公認のびわ湖陸上競技大会を毎年運営しています。本年も675名と多くの参加者があり、身近な地域の大会として定着するとともに、参加者の記録の中には滋賀県10傑に公認記録としてランクインし、選手の励みともなっています。

さらに、陸上教室は栗東市体育協会と共催していただいたことにより、毎週土曜日に30名弱の指導者と140名を超える参加者が毎回練習に励んでおり、教室を卒業した選手が、全国大会や国際大会に出場する状況ともなっています。

野洲川陸上競技場の年間利用状況は、昨年度21,000人超、一日平均71人と大変多くの方が利用されているとお聞きしています。これは、陸上大会だけではなく、様々なアスリートが日々の練習場所としての利用いただいているものと認識しています。

これらのことから、本陸上競技場は本協会にとっても市内外のアスリートにとっても大変重要な拠点施設であり、県内においても数少ない施設であることから、財政大変厳しい状況とはお聞きしておりますが、来年度に迫ります公認更新を是非とも栗東市に要望していただきますようよろしくお願いいたします。